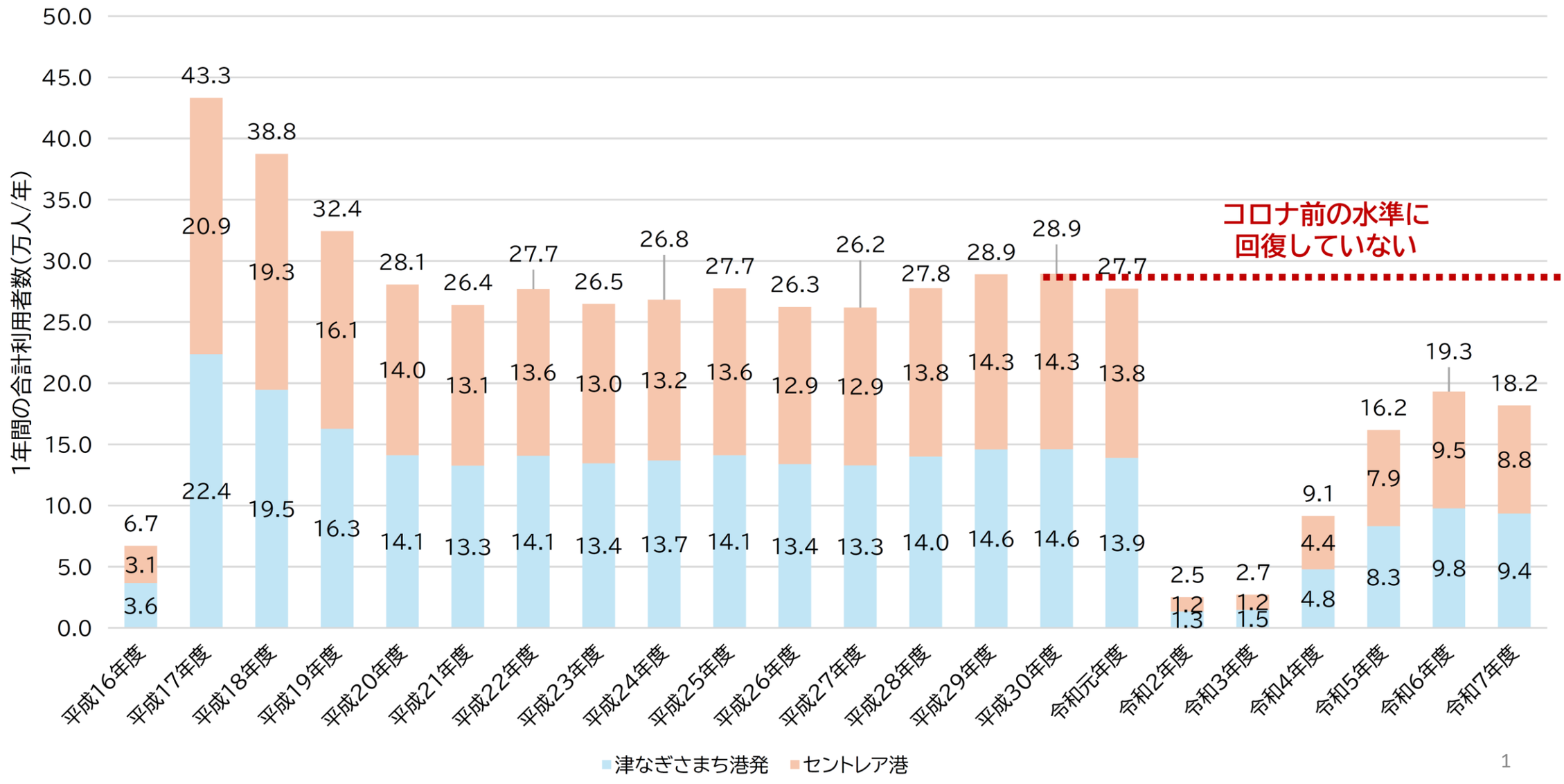
運航実績の分析及び利用者等アンケート結果（速報）について

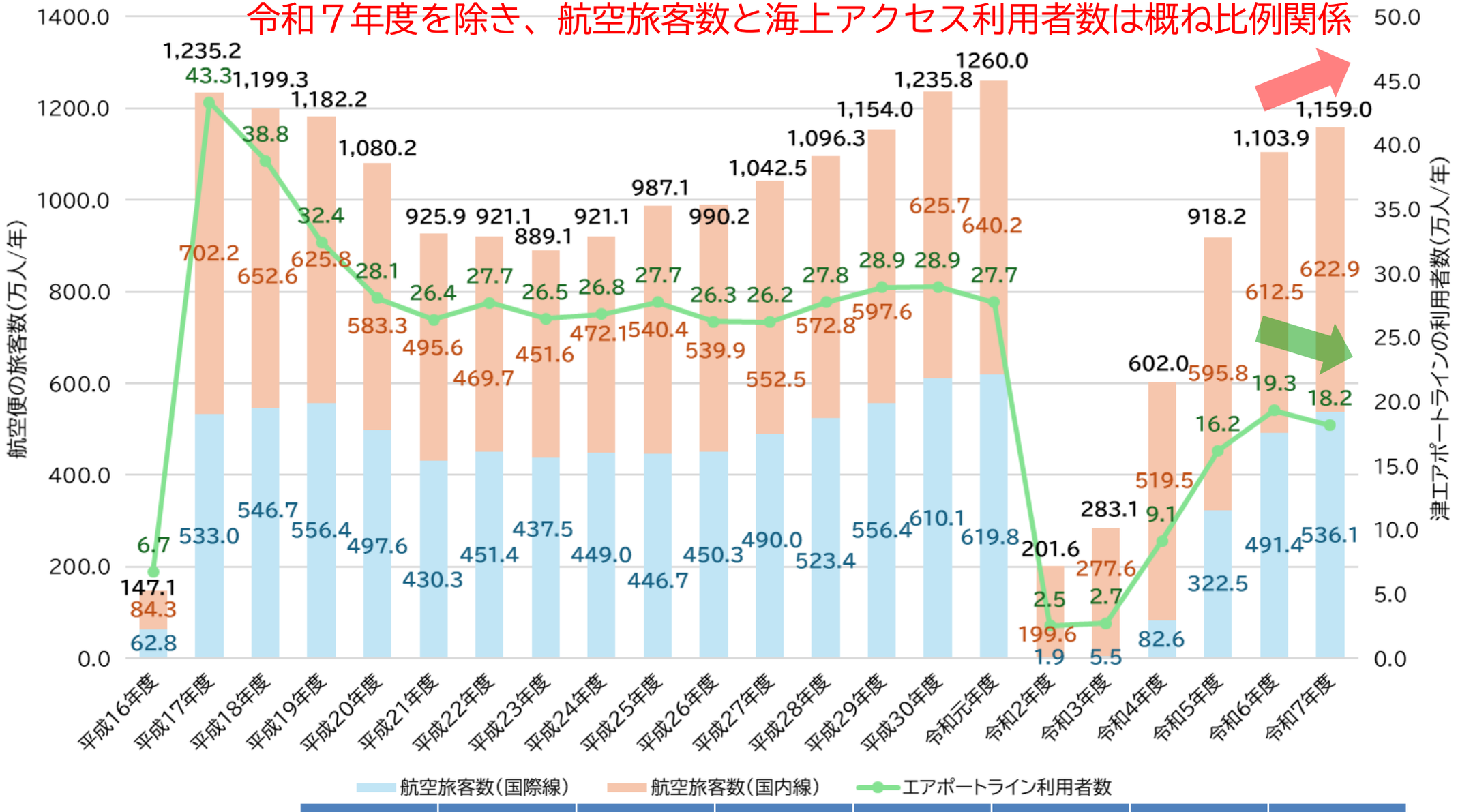
資料１

開港以降の海上アクセス利用者数の推移



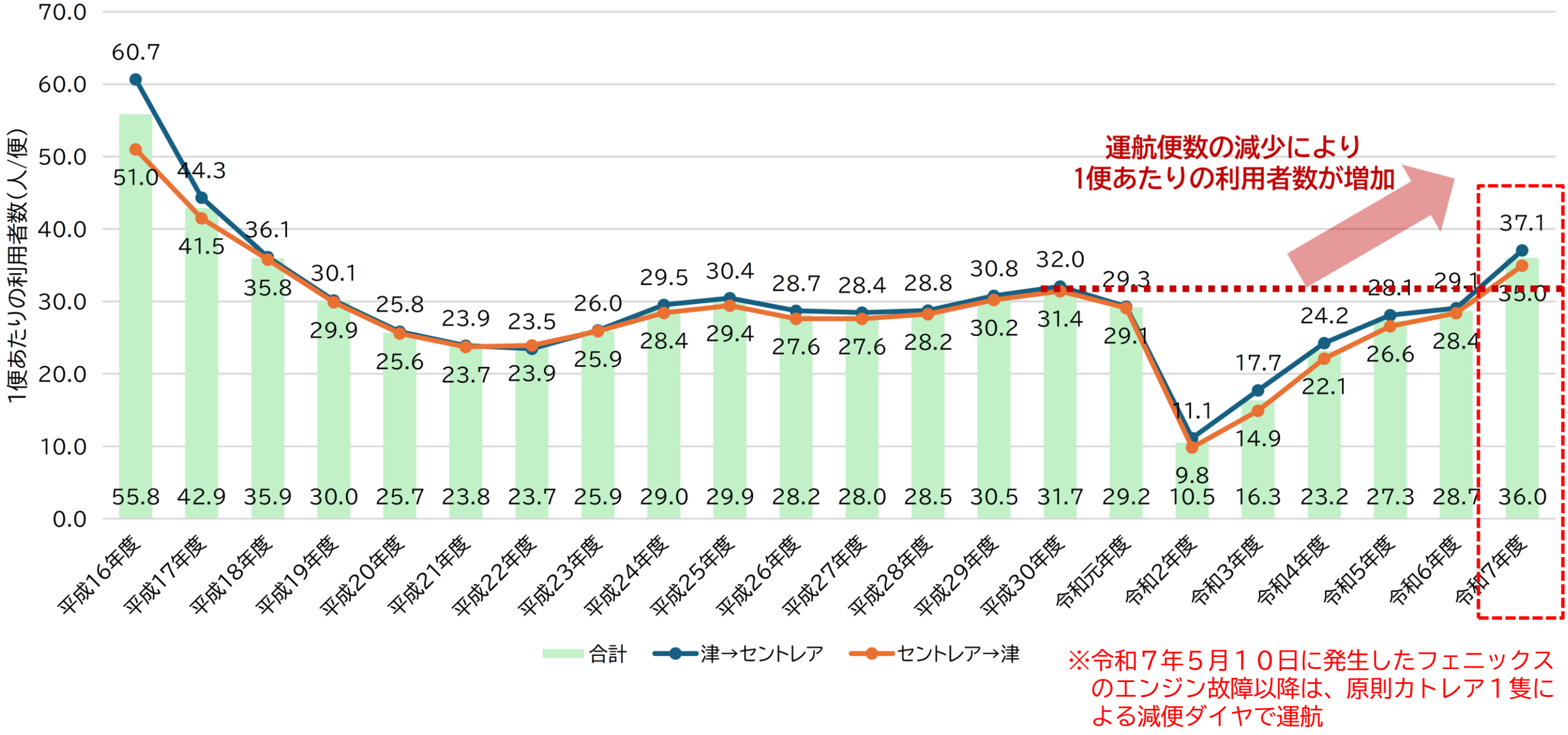
中部国際空港における航空旅客との関連性

令和７年度を除き、航空旅客数と海上アクセス利用者数は概ね比例関係



●航空旅客数に占める海上アクセス利用者数の割合	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	2.3%	2.2%	1.2%	1.0%	1.5%	1.8%	1.7%	1.6%

開港以降の海上アクセス利用者数の推移 【１便あたりの利用者数】



※令和７年５月１０日に発生したフェニックスのエンジン故障以降は、原則カトレア１隻による減便ダイヤで運航

年度ごとの利用状況等の比較

比較対象年度

・平成３０年度

　平成２０年度以降で過去最高利用者数（２８９，３９７人）かつ１年を通じて新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の年度

・令和６年度

　新型コロナウイルス感染症の５類移行後かつ２隻運航体制の年度

・令和７年度

　直近かつフェニックス故障により年度途中（５月１１日）から原則１隻運航体制の年度

※平成３１年度（令和元年度）は、新型コロナウイルス感染症の影響により１月以降の利用者数が前年度同時期と比較して減少しているため、比較対象年度として選定しない。

年度ごとの利用状況等の比較

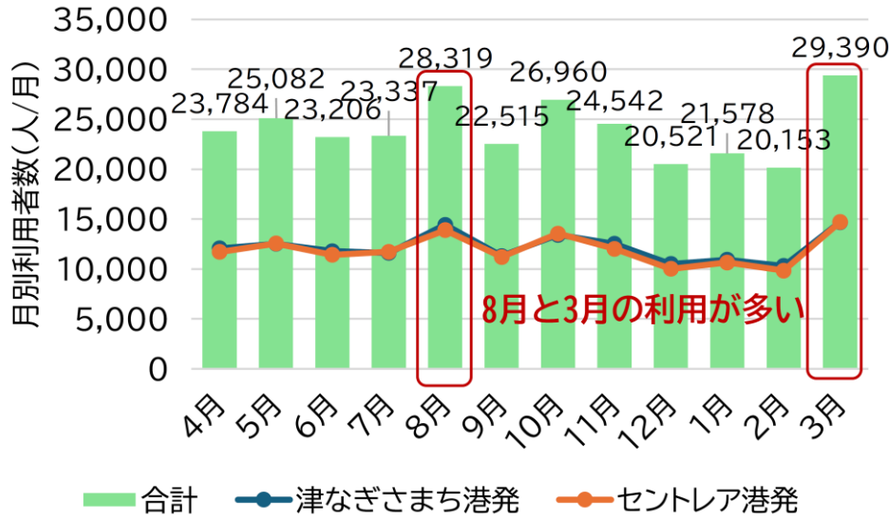
運航体制等の比較

	平成３０年度	令和６年度	令和７年度
運航体制	２隻運航体制 （カトレア、フェニックス）	２隻運航体制 （カトレア、フェニックス）	【フェニックス故障前】 ２隻運航体制 （カトレア、フェニックス） ↓ 【フェニックス故障後】 原則１隻運航体制 （カトレア） ※多客時はRED BIRDも運航
運航ダイヤ （１日当たり）	１５往復３０便	９往復１８便 又は１１往復２２便 （曜日等による）	【フェニックス故障前】 ９往復１８便 又は１１往復２２便 （曜日等による） ↓ 【フェニックス故障後】 原則７往復１４便
運航便数 （欠航等を除く）	９，１１７便	６，７２５便	５，０４６便

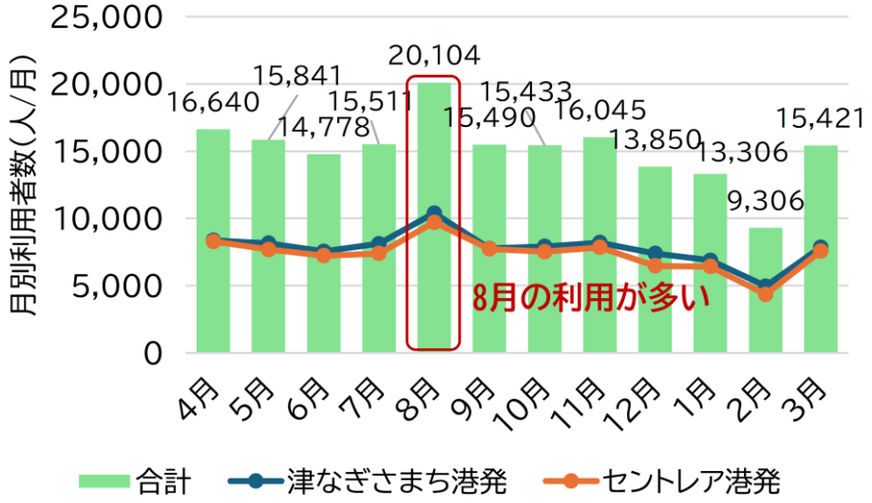
年度ごとの利用状況等の比較

利用者数の比較【月別利用者数】

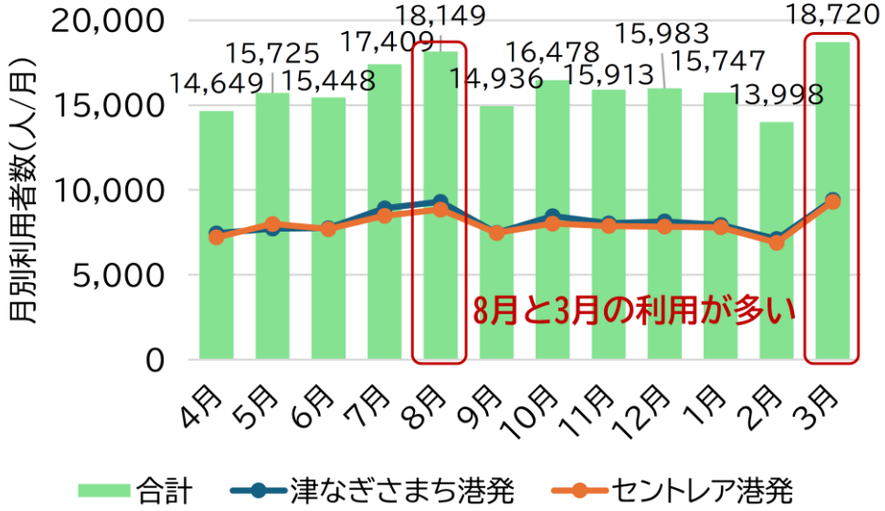
平成３０年度



令和７年度



令和６年度

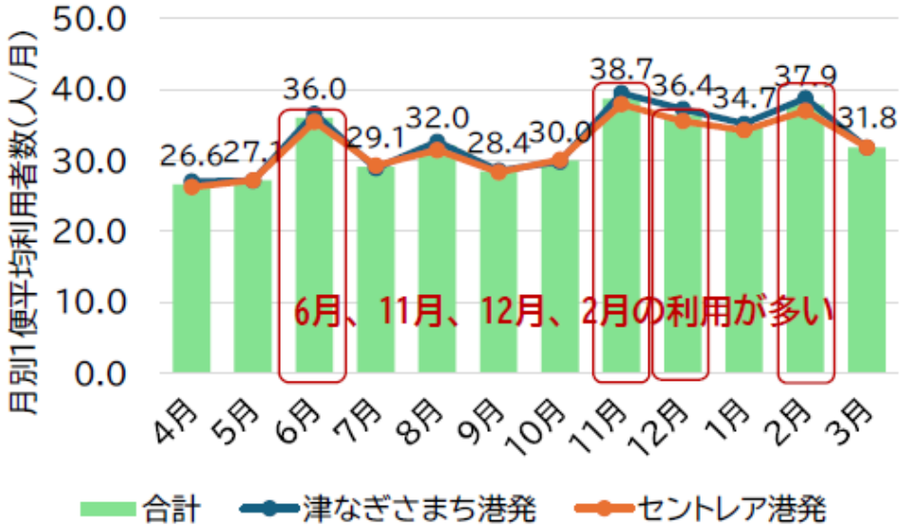


- 共通して８月及び３月の利用が多く、２月の利用が少ない
- 前年同時期と比較して令和７年度は１２月以降の利用者数の減少が顕著（※令和８年４月～７月の利用者数も減少）

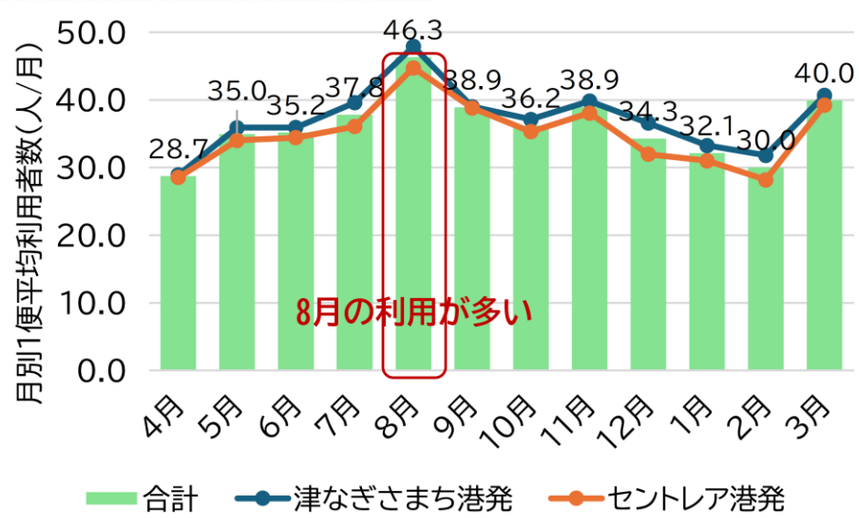
年度ごとの利用状況等の比較

利用者数の比較【月別１便当たりの平均利用者数】

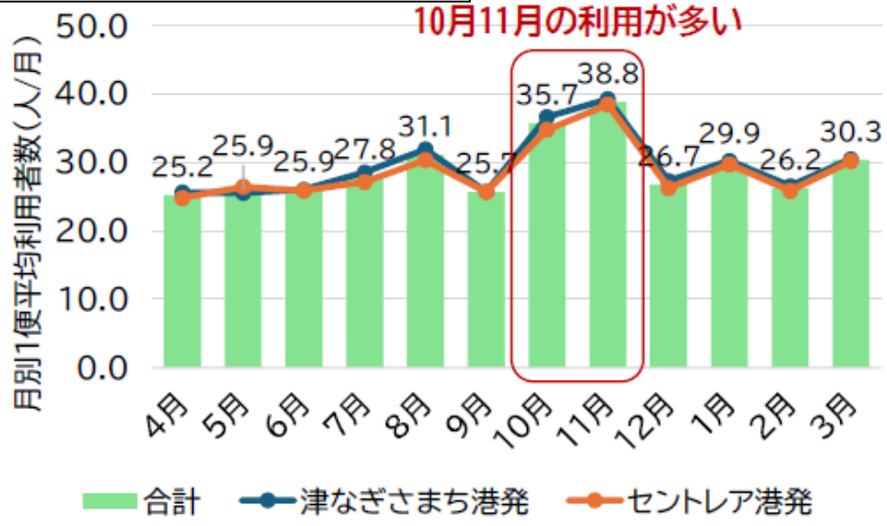
平成３０年度



令和７年度



令和６年度

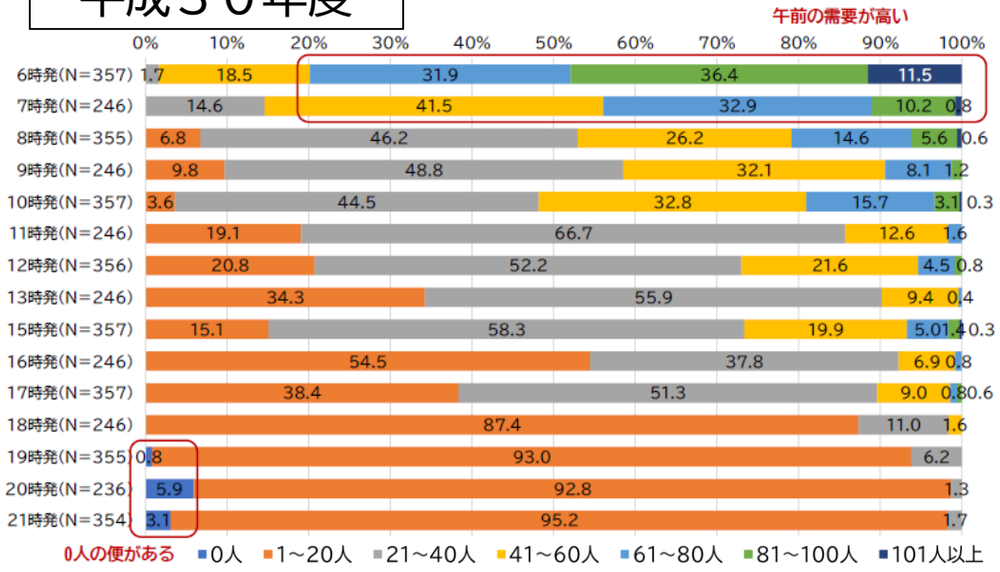


- 平成３０年度及び令和６年度は、８月と３月の利用が多かったにもかかわらず、同月の１便当たりの平均利用者数が多いわけではない　→１便に集中するのではなく、前後便等に分散して利用されたと考えられる
- 令和７年度は、フェニックス故障以降は原則１隻体制の減便ダイヤ（１日当たり７往復１４便）で運航したことにより運航間隔が長くなり、月別利用者数と１便当たりの平均利用者数の傾向は概ね一致している。

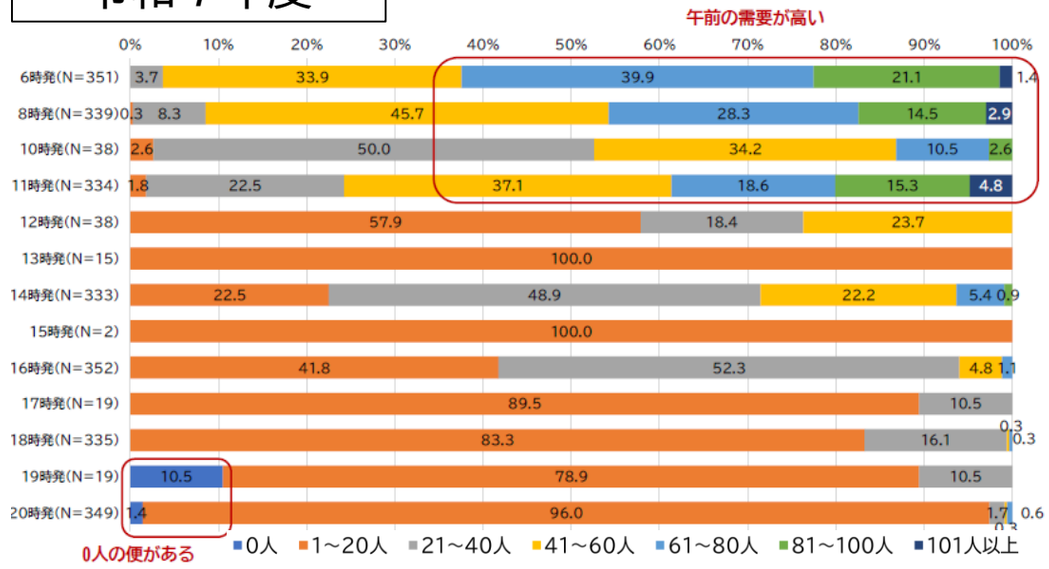
年度ごとの利用状況等の比較

利用者数の比較【時間別利用割合－津なぎさまち港発】

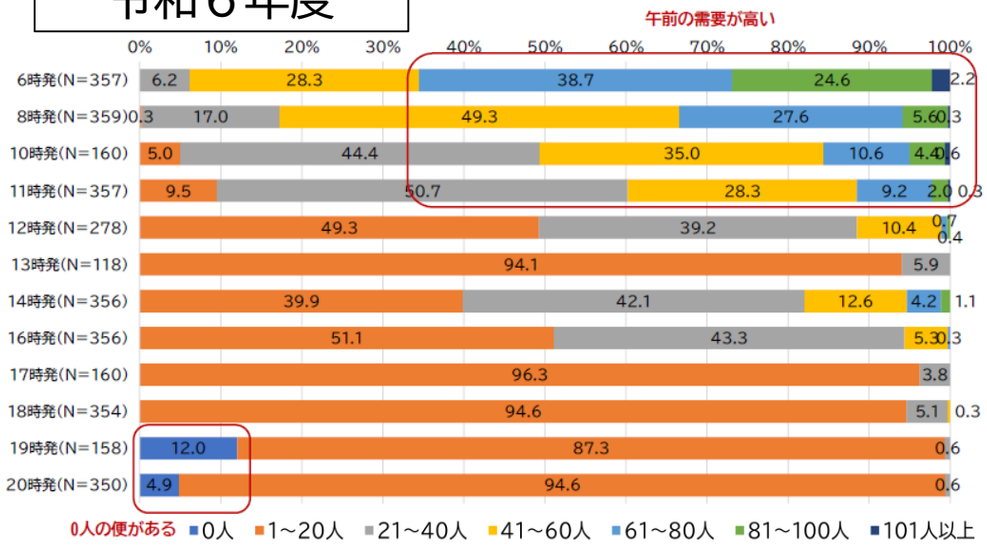
平成３０年度



令和７年度



令和６年度

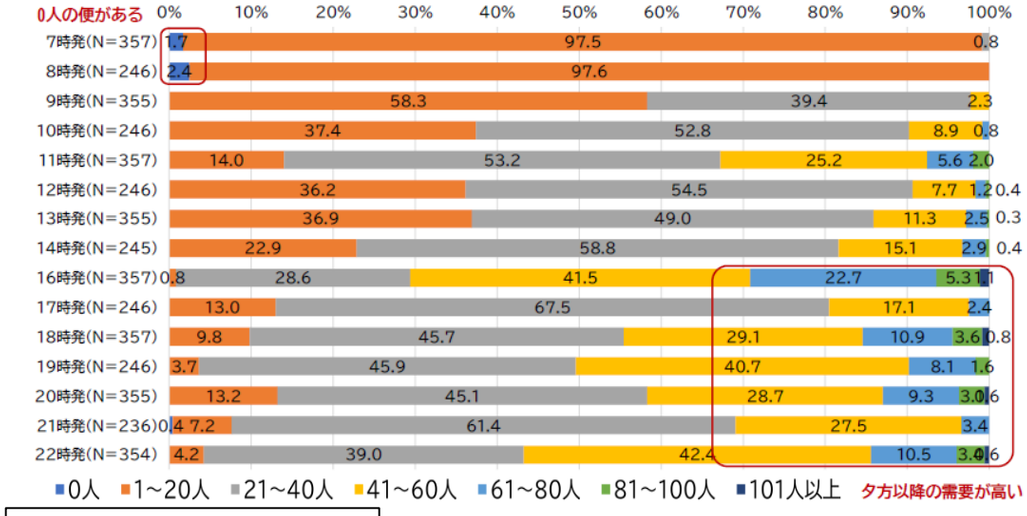


- いずれの年度も午前中の便（特に６時～８時）の利用者が多く、夕方以降は２０人以下の割合が高い。
- 夜間（１９時以降）には０人の便が一定割合ある。

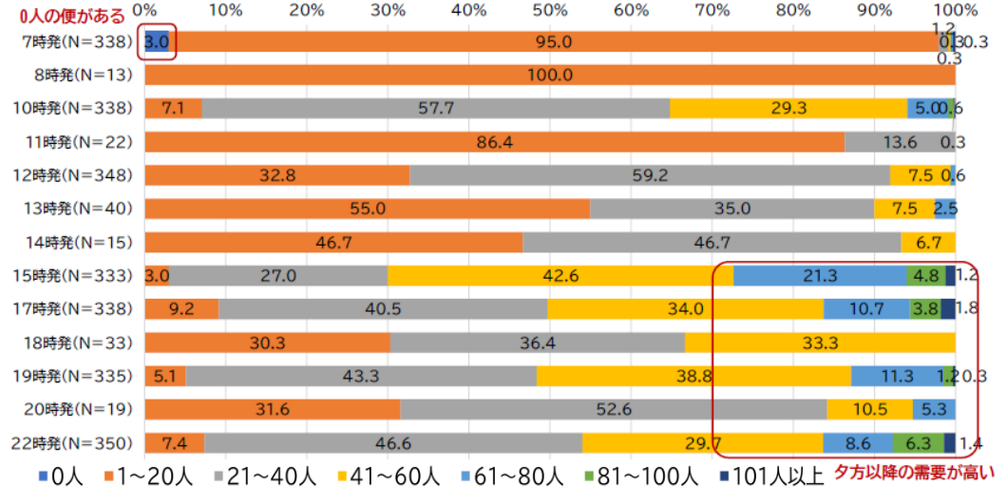
年度ごとの利用状況等の比較

利用者数の比較【時間別利用割合－セントレア港発】

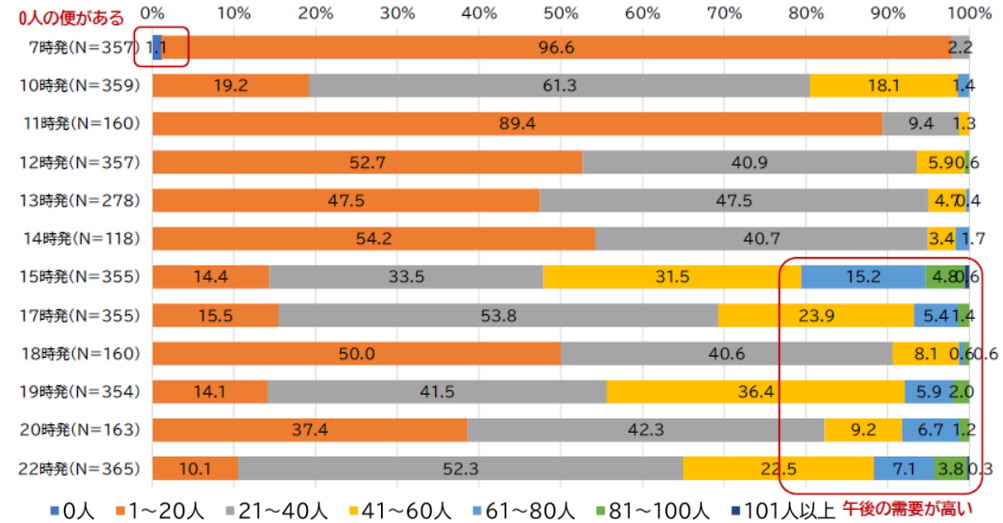
平成３０年度



令和７年度



令和６年度



- いずれの年度も夕方以降の便（特に１５時～２２時）の利用者が多く、早朝（７～９時）は２０人以下の割合が高い。
- 早朝（７時～８時）には０人の便が一定割合ある。

年度ごとの利用状況等の比較

利用者数の比較【時間別利用者数/割合】

	平成30年度		令和6年度		令和7年度	
	津なぎさまち発	セントレア港発	津なぎさまち発	セントレア港発	津なぎさまち発	セントレア港発
6時発	28,013／19.2%	－	24,454／25.0%	－	23,580／25.2%	－
7時発	14,567／10.0%	2,345／ 1.6%	－	2,554／ 2.7%	－	2,031／ 2.3%
8時発	15,436／10.6%	1,676／ 1.2%	19,568／20.0%	－	21,171／22.6%	128／ 0.1%
9時発	9,498／ 6.5%	7,002／ 4.9%	－	－	－	－
10時発	16,019／11.0%	6,348／ 4.4%	7,018／7.2%	10,986／11.5%	1,585／1.7%	12,692／14.4%
11時発	7,320／ 5.0%	12,714／ 8.9%	13,896／14.2%	1,949／ 2.0%	19,371／20.7%	324／ 0.4%
12時発	11,589／ 7.9%	6,343／ 4.4%	6,637／6.8%	7,791／ 8.2%	981／1.0%	9,116／10.3%
13時発	6,367／ 4.4%	9,711／ 6.8%	1,288／1.3%	6,397／ 6.7%	146／0.2%	861／ 1.0%
14時発	－	7,368／ 5.1%	9,691／9.9%	2,531／ 2.7%	11,012／11.8%	340／ 0.4%
15時発	12,269／ 8.4%	－	－	15,279／16.0%	7／0.0%	17,008／19.3%
16時発	5,390／ 3.7%	18,671／13.0%	7,814／8.0%	－	8,385／9.0%	－
17時発	9,208／ 6.3%	8,022／ 5.6%	1,449／1.5%	12,527／13.1%	180／0.2%	14,836／16.8%
18時発	3,359／ 2.3%	14,735／10.3%	3,621／3.7%	3,684／ 3.9%	4,572／4.9%	988／ 1.1%
19時発	3,687／ 2.3%	10,211／ 7.1%	619／0.6%	13,479／14.1%	101／0.1%	14,191／16.1%
20時発	1,189／ 0.8%	14,162／ 9.9%	1,689／1.7%	4,487／ 4.7%	2,446／2.6%	552／ 0.6%
21時発	2,197／ 1.5%	8,278／ 5.8%	－	－	－	－
22時発	－	15,693／11.0%	－	13,747／14.4%	－	15,121／17.1%

✓津なぎさまち発：夕方まで利用者が多い　　✓セントレア港発：夕方以降に利用者が多い

年度ごとの利用状況等の比較

利用者81人以上の便数と運航便数に占める割合

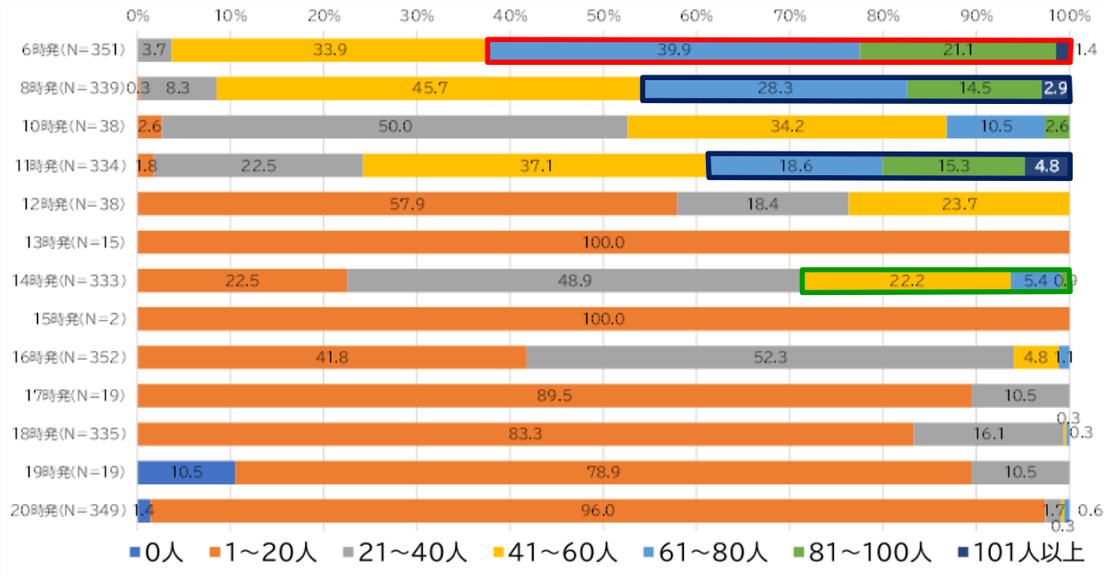
年度	平成３０年度		令和６年度		令和７年度	
出発港	津なぎさまち港	セントレア港	津なぎさまち港	セントレア港	津なぎさまち港	セントレア港
運航便数 （※欠航除く）	４，５５９便	４，５５８便	３，３６３便	３，３６２便	２，５２４便	２，５２２便
	９，１１７便		６，７２５便		５，０４６便	
８１人以上 利用便数 （割合）	２４６便 （５．５％）	８０便 （１．８％）	１３８便 （４．１％）	５１便 （１．５％）	２０９便 （８．３％）	７５便 （３．０％）
	３２６便 （３．６％）		１８９便 （２．８％）		２８４便 （５．６％）	

中部国際空港のフライトとの接続状況

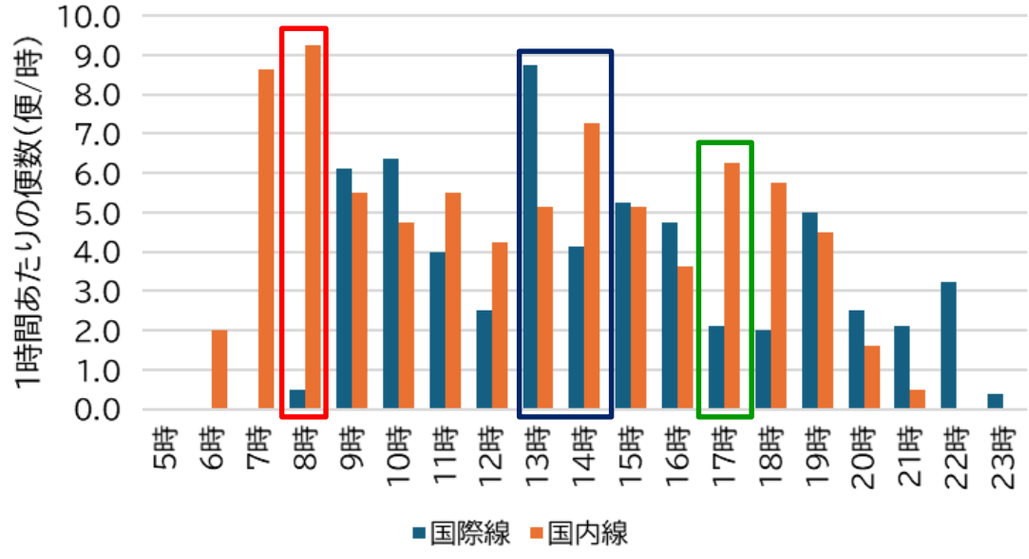
津なぎさまち港発

令和7年4月から10月と2026年1月の時刻表を対象に集計し分析。（WEB上で公表されている時刻表のみ整理）

便別利用者数の推移（令和7年度/津なぎさまち港発）



出発時刻



≪可能性の高い行動パターン≫



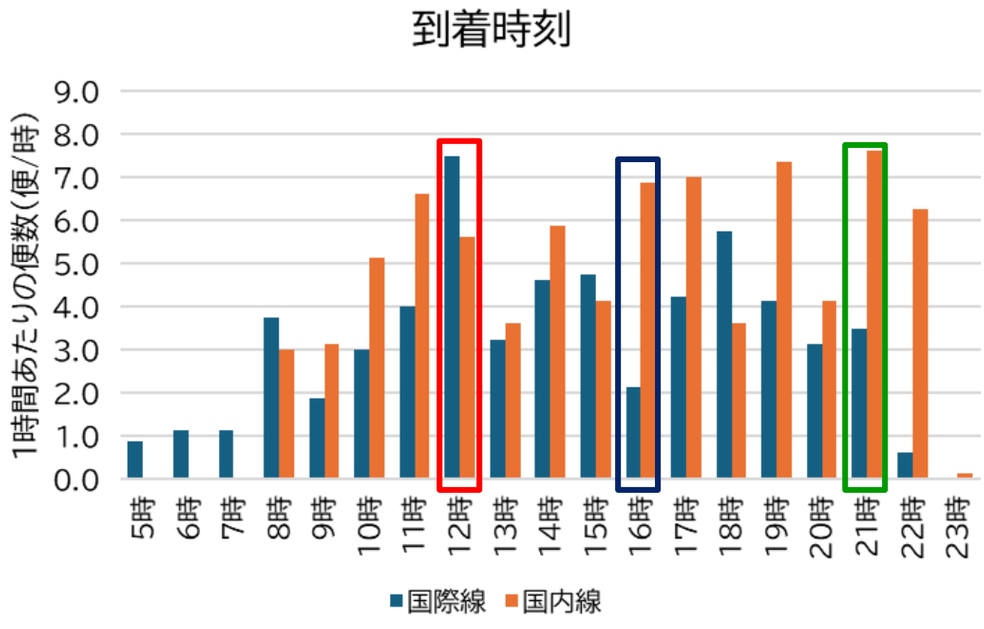
※国際線のカウンターオープンの時刻の目安は出発の2時間から3時間前（参照：中部国際空港HP）

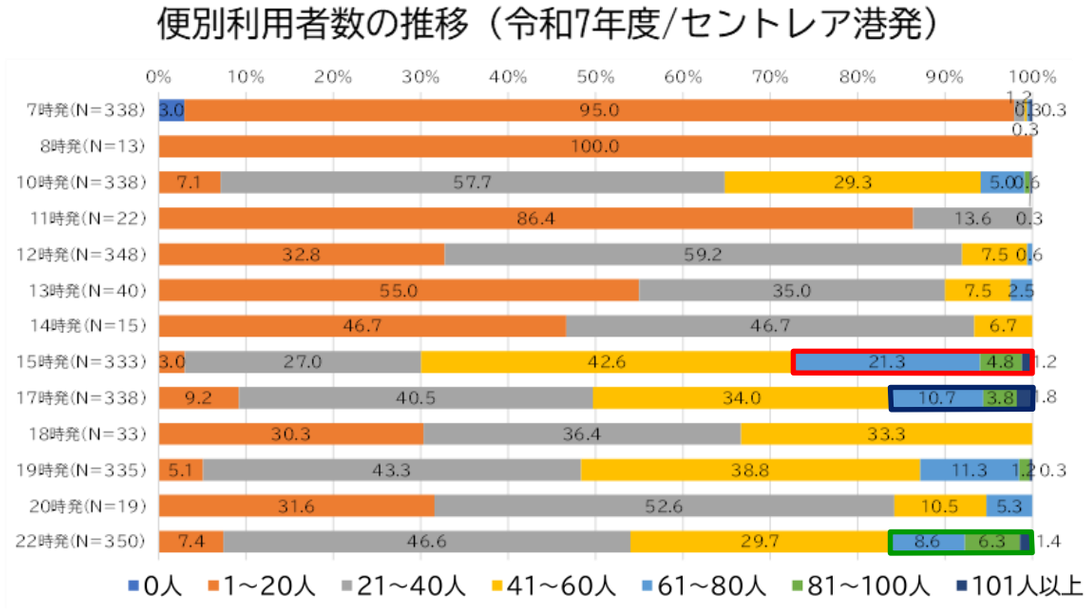
➡ 便数の多い７時台の航空便（国内線）に対応できてない

中部国際空港のフライトとの接続状況

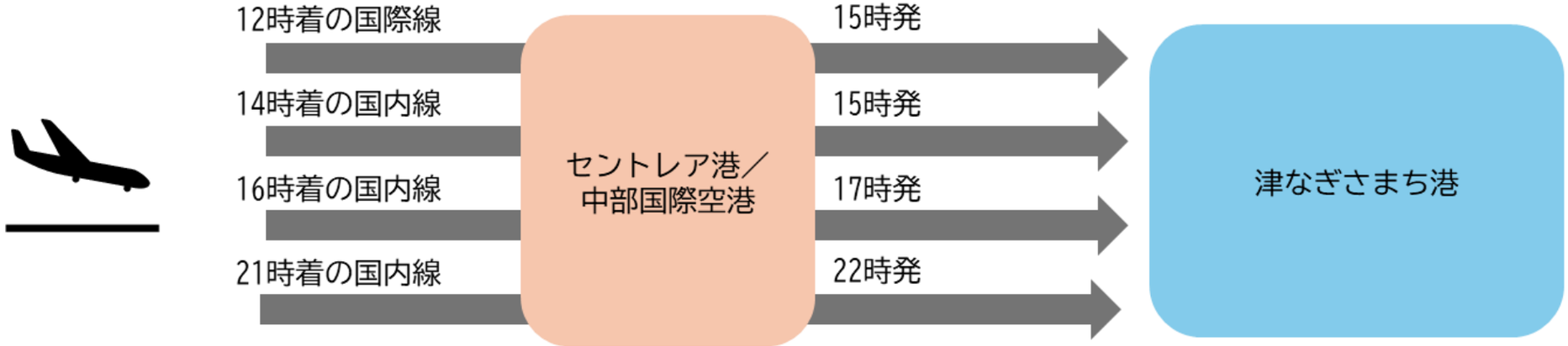
セントレア港発

令和7年4月から10月と2026年1月の時刻表を対象に集計し分析。（WEB上で公表されている時刻表のみ整理）





≪可能性の高い行動パターン≫

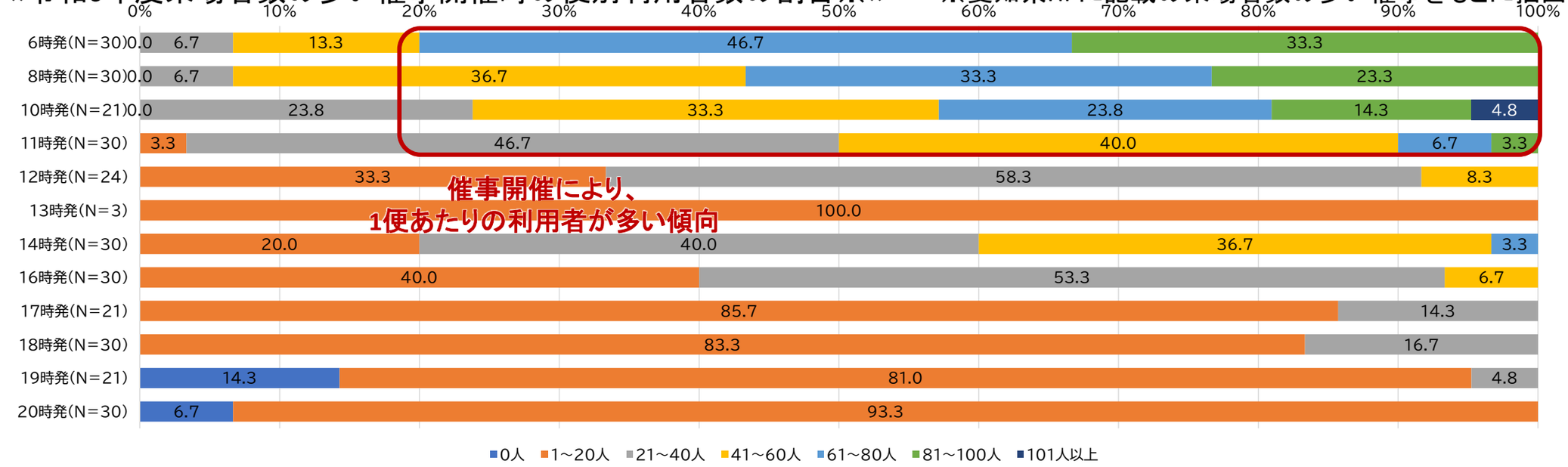


便数の多い２２時台の航空便（国内線）に対応できてない

愛知県国際展示場で開催される催事との関連性

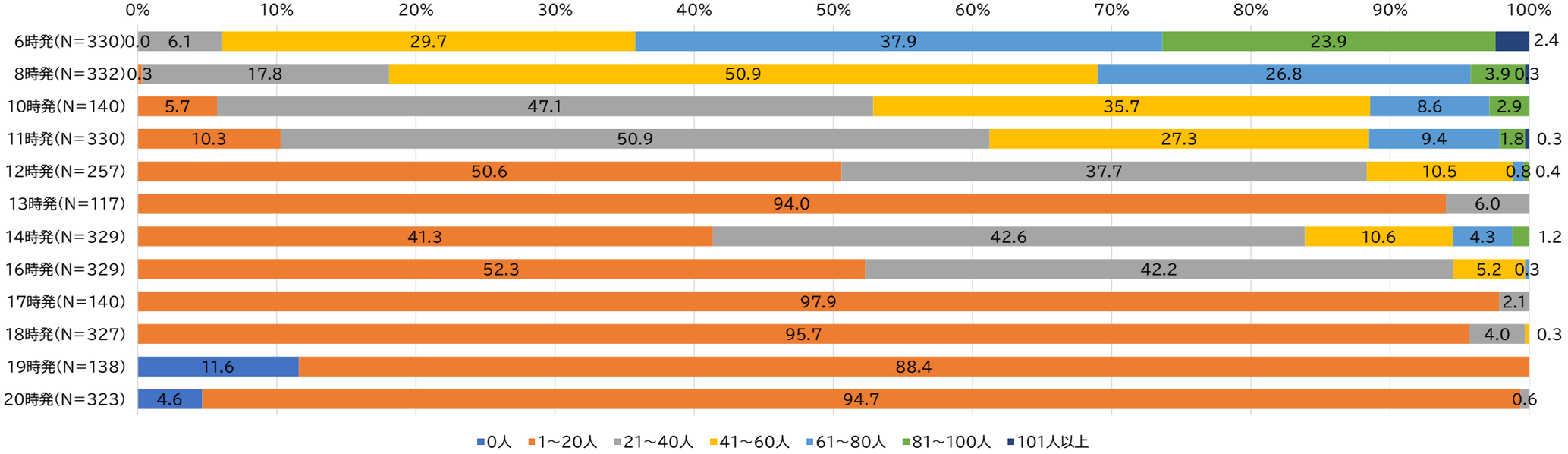
津なぎさまち港発

≪令和6年度来場者数の多い催事開催時の便別利用者数の割合※≫　※愛知県HPに記載の来場者数の多い催事をもとに抽出



催事開催により、
1便あたりの利用者が多い傾向

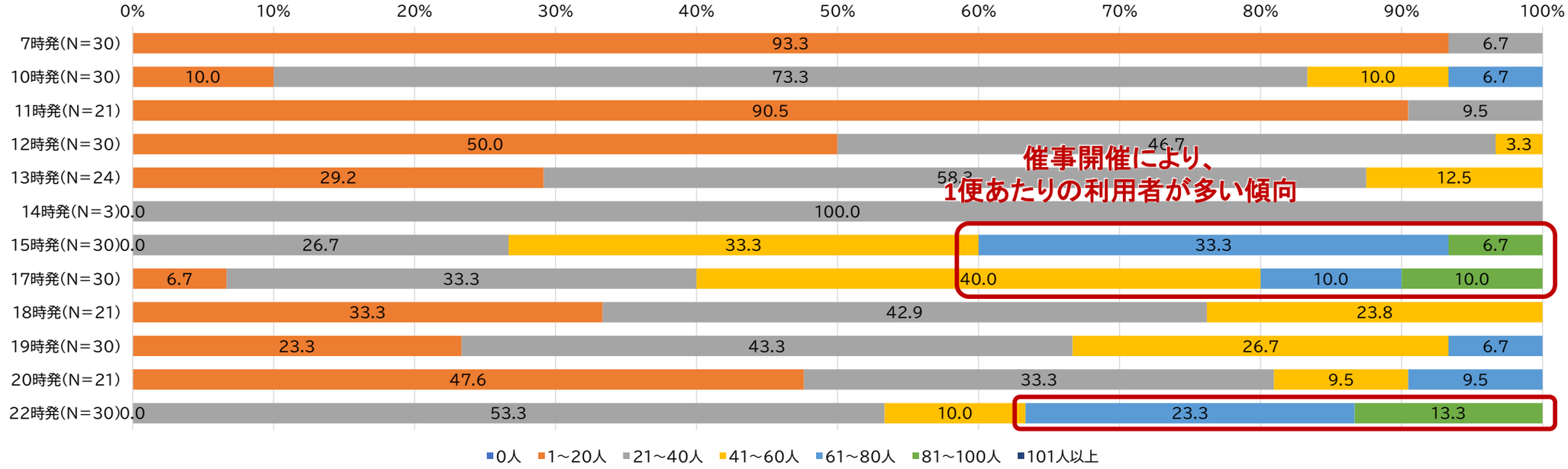
≪令和6年度来場者の多い催事開催時以外の便別利用者数の割合≫



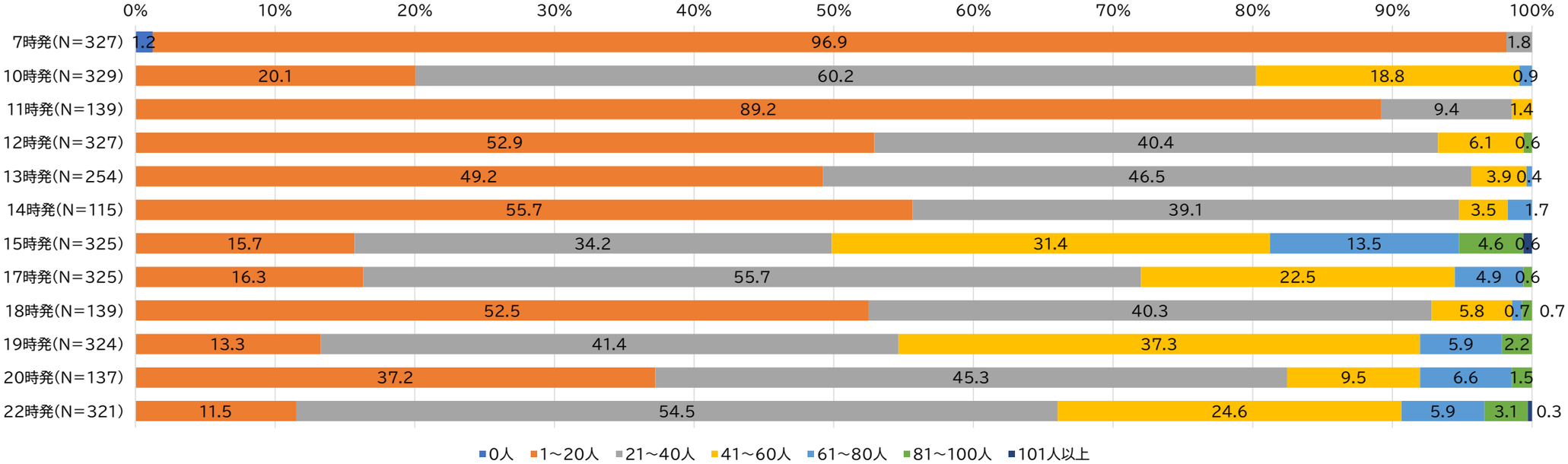
愛知県国際展示場で開催される催事との関連性

セントレア港発

≪令和6年度来場者数の多い催事開催時の便別利用者数の割合※≫　※愛知県HPに記載の来場者数の多い催事をもとに抽出



≪令和6年度来場者の多い催事開催時以外の便別利用者数の割合≫



利用者等アンケート結果（速報）

実施日

①令和８年７月１７日（金）【平日】　　②令和８年８月１日（土）【土休日】

調査場所

【海上アクセス利用者向けアンケート】

津なぎさまち内旅客船ターミナル、空港島旅客船ターミナル

【中部国際空港利用者向けアンケート】※三重県居住者又は三重県からの来訪者かつ海上アクセスを利用していない人

中部国際空港（第１ターミナル４階 イベントフロア付近、３階出発ロビー）

アンケート回収件数

【海上アクセス利用者向けアンケート】

２４３件（内訳　①１０８件、②１３５件）

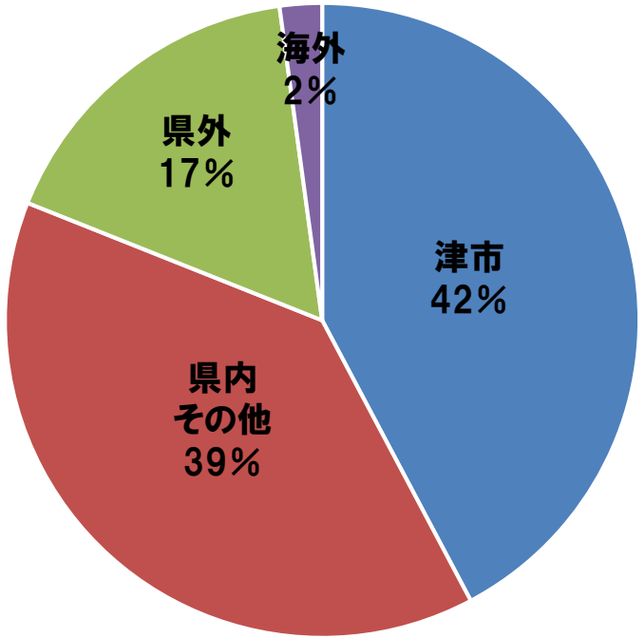
【中部国際空港利用者向けアンケート】※三重県居住者又は三重県からの来訪者かつ海上アクセスを利用していない人

３００件（内訳　①１０８件、②１９２件）

海上アクセス利用者向けアンケート

【居住地】　「津市」が42%と最も多く、次いで「県内その他」が39%、「県外」が17%となっている。「県内その他」の内訳として、松阪市、伊勢市、鈴鹿市の順に多い。

N=232



市町村	回答数		
	平日	土休日	合計
鈴鹿市	7	6	13
亀山市	1	2	3
津市	51	47	98
伊賀市	2	0	2
名張市	0	1	1
松阪市	9	12	21
明和町	1	2	3
多気町	2	2	4
玉城町	1	1	2
伊勢市	6	11	17
鳥羽市	0	1	1
志摩市	3	0	3
度会郡	1	1	2
南伊勢市	0	1	1
紀北町	1	1	2
尾鷲市	2	0	2
熊野市	1	2	3
紀宝町	0	3	3
三重県	2	5	7
（県内）小計	90	98	188

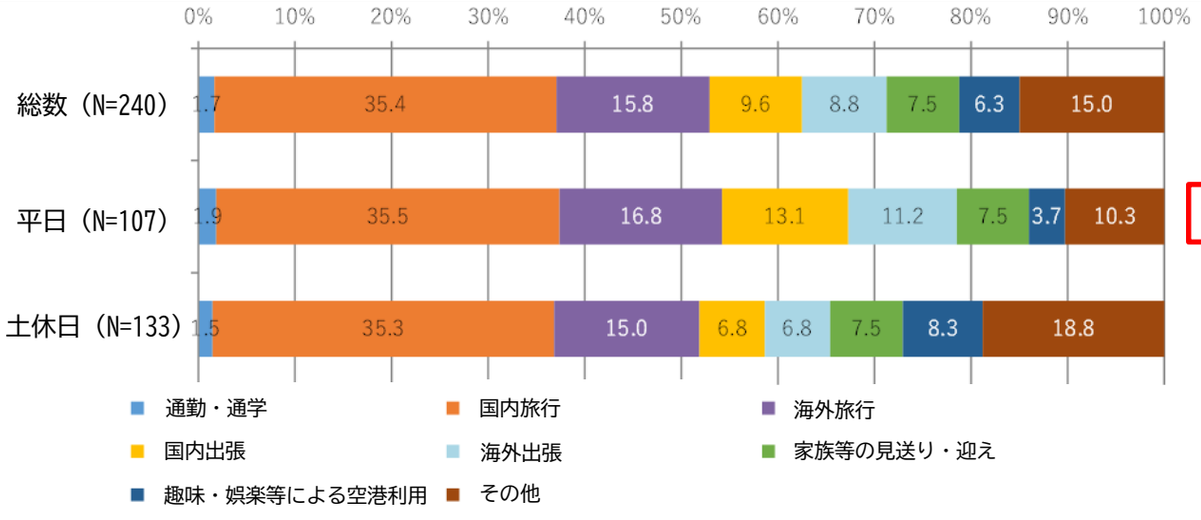
市町村	回答数		
	平日	土休日	合計
韓国	0	2	2
マレーシア	0	1	1
オーストラリア	1	0	1
フィンランド	1	0	1
（国外）小計	2	3	5

市町村	回答数		
	平日	土休日	合計
北海道千歳市	1	0	1
北海道小樽市	0	1	1
北海道札幌市	1	5	6
北海道広尾町	1	0	1
北海道釧路市	0	1	1
北海道浦河町	0	1	1
新潟県新発田市	0	1	1
富山県富山市	0	1	1
東京都文京区	0	1	1
東京都	1	1	2
愛知県半田市	1	0	1
愛知県常滑市	2	3	5
愛知県岡崎市	0	1	1
京都府八幡市	0	1	1
和歌山県新宮市	0	2	2
大阪府大阪市	0	1	1
高知県	1	0	1
福岡県北九州市	0	1	1
福岡県糸島市	1	0	1
福岡県	1	0	1
長崎県大村市	0	1	1
宮崎県	0	1	1
熊本県熊本市	1	0	1
鹿児島県鹿児島市	1	0	1
鹿児島県	0	1	1
沖縄県那覇市	1	0	1
沖縄県沖縄市	2	0	2
（県外）小計	15	24	39

海上アクセス利用者向けアンケート

【移動の目的】

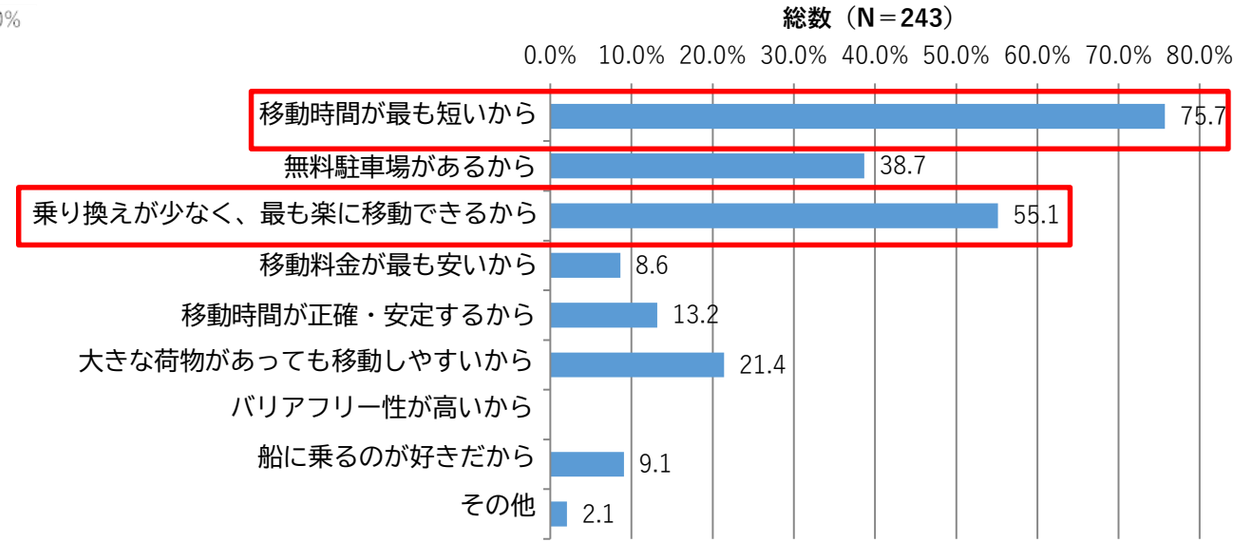
「国内旅行」が35.4%と最も多く、次いで「海外旅行」が15.8%、「国内出張」が9.6%、「海外出張」が8.8%となった。



［「その他」の回答内容］　※（）：回答数
帰省（10）、帰国（4）、大会（2）、友人に会いに（2）、仕事（セントレアで）、自宅から近いから、介護他、里帰り、家族が海外赴任で訪れた、仕事、復興支援、語学留学

【移動手段に津エアポートラインを選んだ理由】

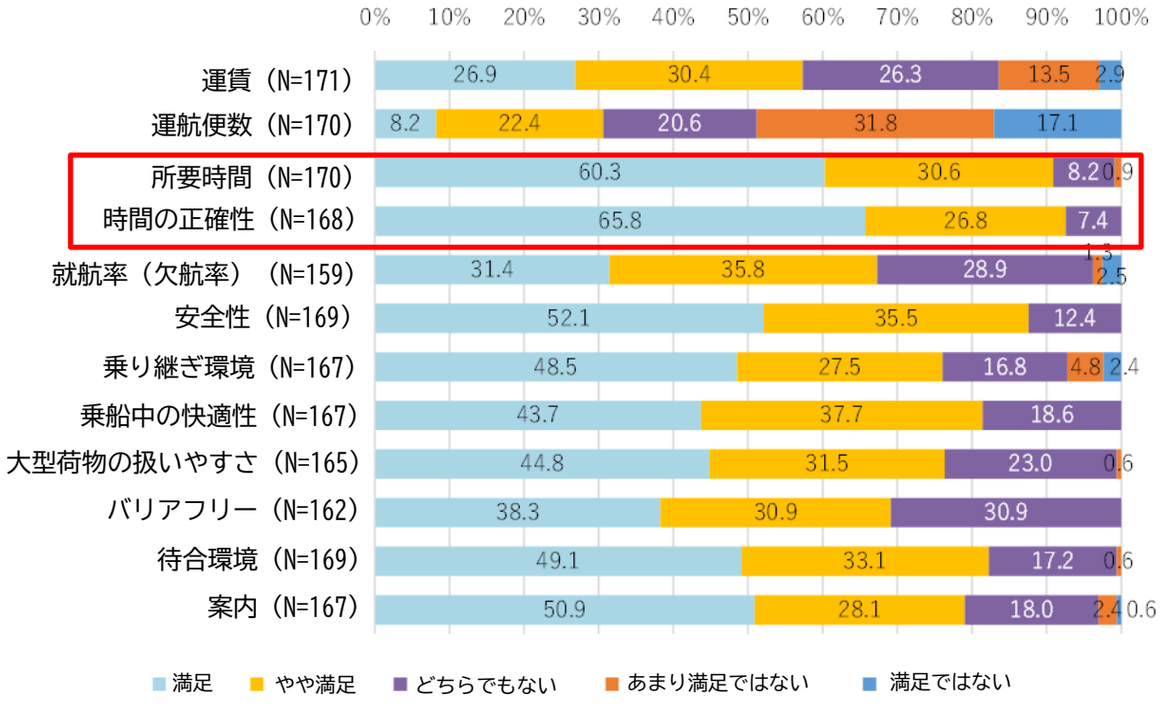
「移動時間が最も短いから」が75.7%と最も多く、次いで「乗り換えが少なく、最も楽に移動できるから」が55.1%、「無料駐車場があるから」が38.7%となった。



海上アクセス利用者向けアンケート

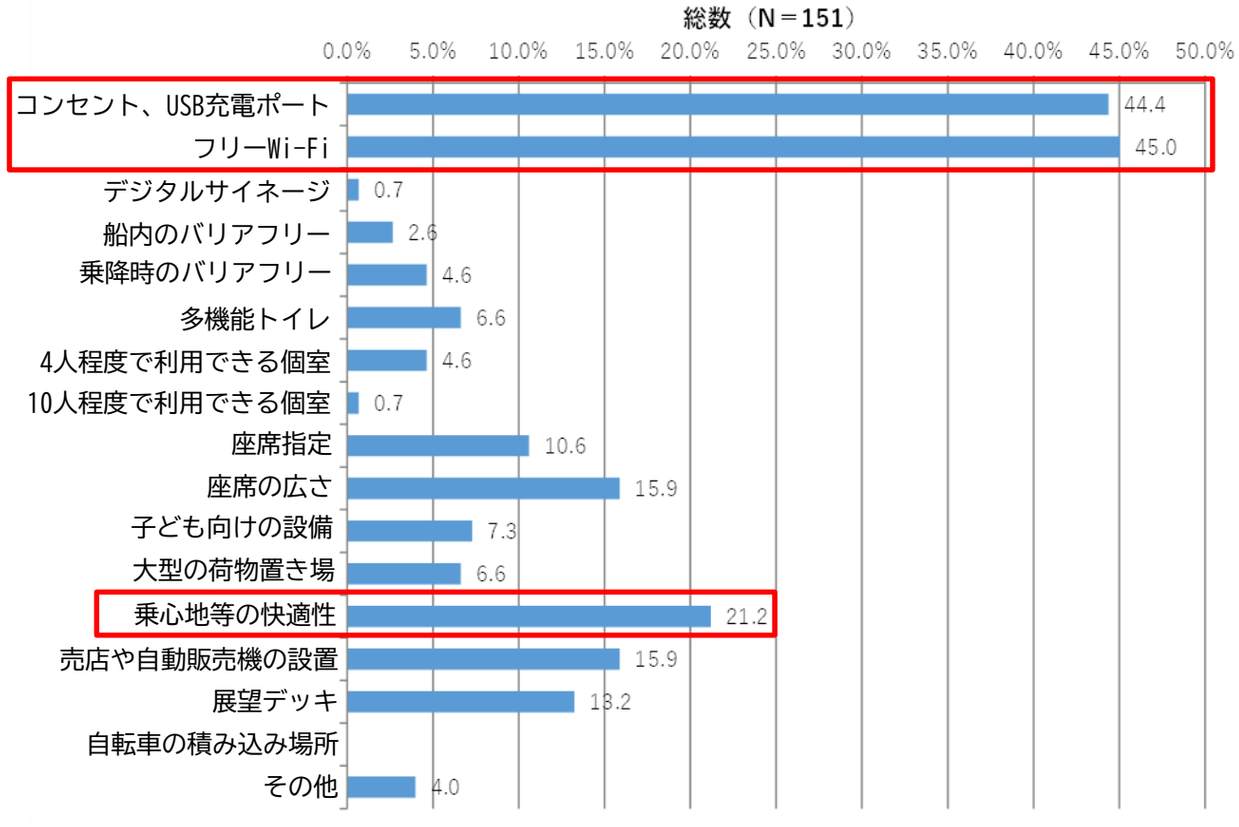
【津エアポートラインの評価】

比較的満足度の高い（満足＋やや満足）項目として、「時間の正確さ」、「所要時間」、「安全性」、「待合環境」、「バリアフリー」となり、比較的満足度の低い（あまり満足ではない＋満足ではない）項目として、「運航便数」、「運賃」となった。



【新船舶に求める設備や機能】

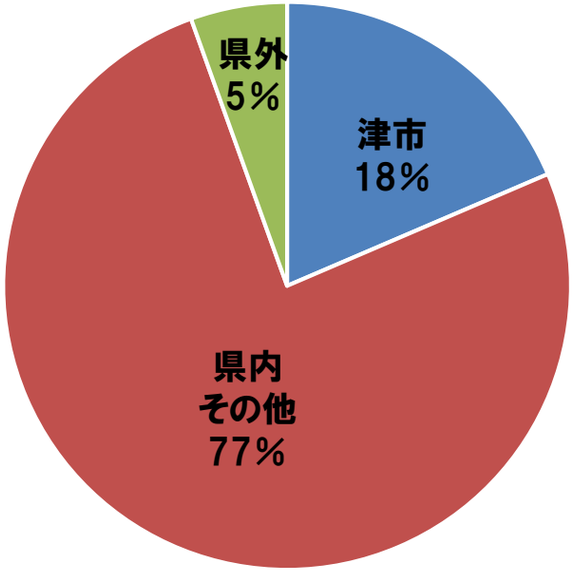
「フリーWi-Fi」が45.0%、「コンセント、USB充電ポート」が44.4%と最も多く、次いで「乗り心地等の快適性」が21.2%、「座席の広さ」と「売店や自動販売機の設置」15.9%となった。



中部国際空港利用者向けアンケート

（対象者：三重県居住者又は三重県からの来訪者かつ海上アクセスを利用していない人）

【居住地】　「県内その他」が77%と最も多く、次いで「津市」が18%となった。「県内その他」の内訳として、四日市市、鈴鹿市、桑名市の順に多い。



N=298

【県内】

市町村	回答数		
	平日	土休日	合計
桑名市	4	21	25
東員町	4	0	4
いなべ市	1	4	5
朝日町	3	0	3
菰野町	4	3	7
四日市市	40	42	82
鈴鹿市	17	34	51
亀山市	1	5	6
津市	13	41	54
伊賀市	1	3	4
名張市	0	2	2
松阪市	5	15	20
明和町	1	0	1
伊勢市	2	3	5
鳥羽市	1	4	5
志摩市	1	1	2
大紀町	0	2	2
南伊勢町	0	1	1
熊野市	0	2	2
御浜町	1	0	1
（県内）小計	99	183	282

【県外】

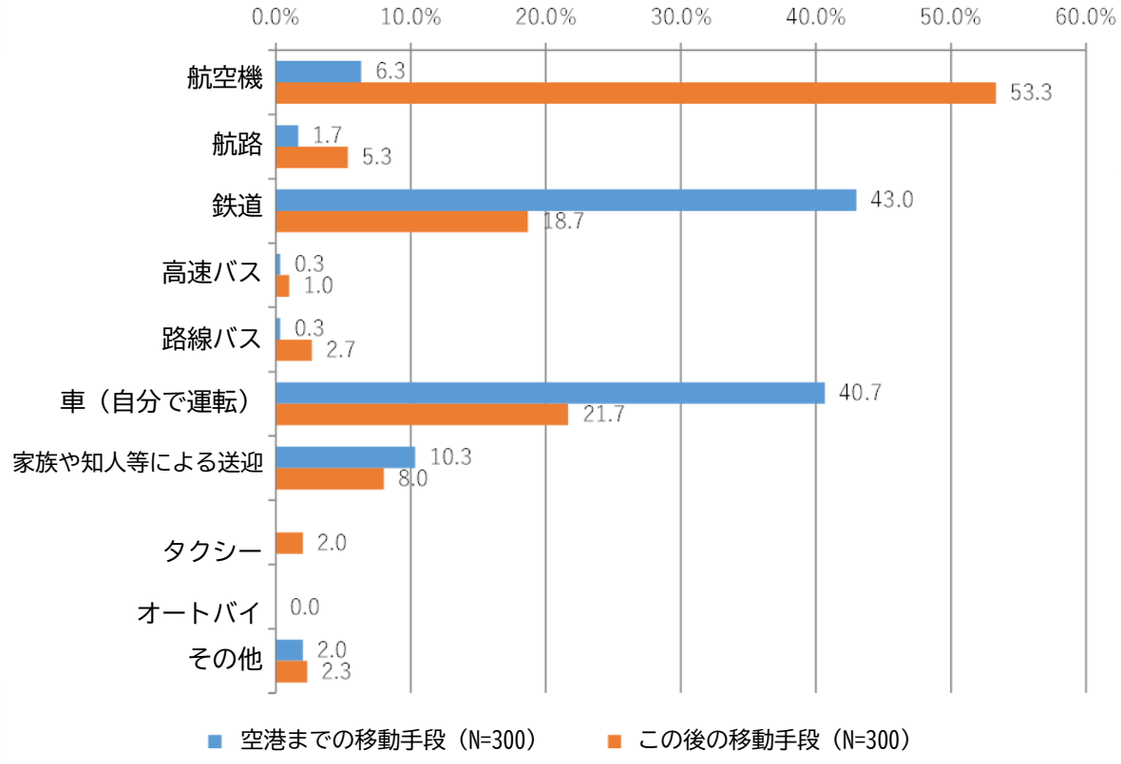
市町村	回答数		
	平日	土休日	合計
北海道北見市	1	0	1
北海道美幌町	1	0	1
愛知県名古屋市	3	0	3
愛知県東浦町	1	0	1
岐阜県岐阜市	1	0	1
岐阜県	1	0	1
大阪府茨木市	0	1	1
大阪府東大阪市	0	1	1
長崎県佐世保市	0	4	4
鹿児島県	0	2	2
（県外）小計	8	8	16

中部国際空港利用者向けアンケート

（対象者：三重県居住者又は三重県からの来訪者かつ海上アクセスを利用していない人）

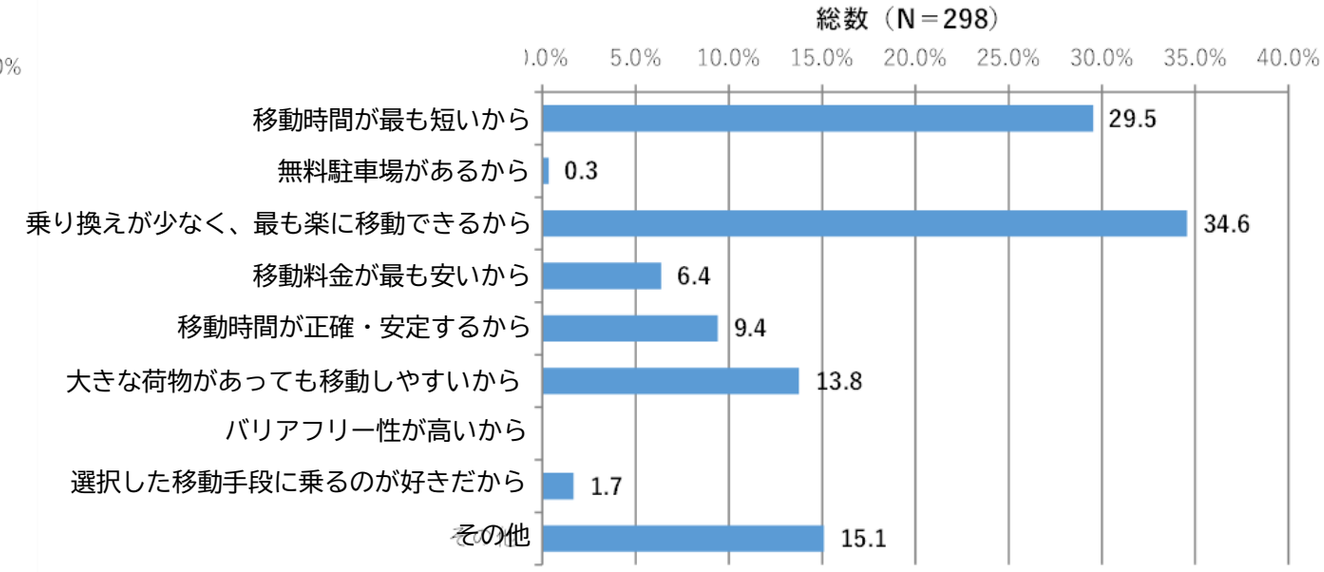
【空港までの移動手段と空港からの移動手段】

空港までの移動手段は、「鉄道」が43.0%と最も多く、次いで「車（自分で運転）」が40.7%となった。
空港からの移動手段は、「航空機」が53.3%と最も多く、次いで「車（自分で運転）」が21.7%となった。



【空港まで（から）の移動手段を選択した理由】

「乗り換えが少なく、最も楽に移動できるから」が34.6%と最も多く、次いで、「移動時間が最も短いから」が29.5%となった。



「その他」の回答内容（一部抜粋）

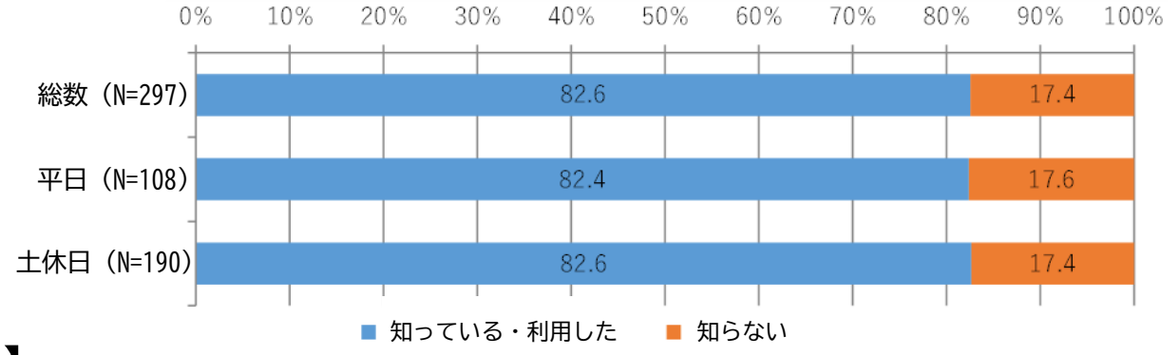
・車だと駐車料金高い
・高速船のスケジュールの関係
・高速船が満席だったから
・津エアポートラインの利用も考えたが、7時台の船がなかった。
・4名での移動で車の方が便利だから。船は料金が高い。
・家族が6名いるので大人数のため車が便利だから

中部国際空港利用者向けアンケート

（対象者：三重県居住者又は三重県からの来訪者かつ海上アクセスを利用していない人）

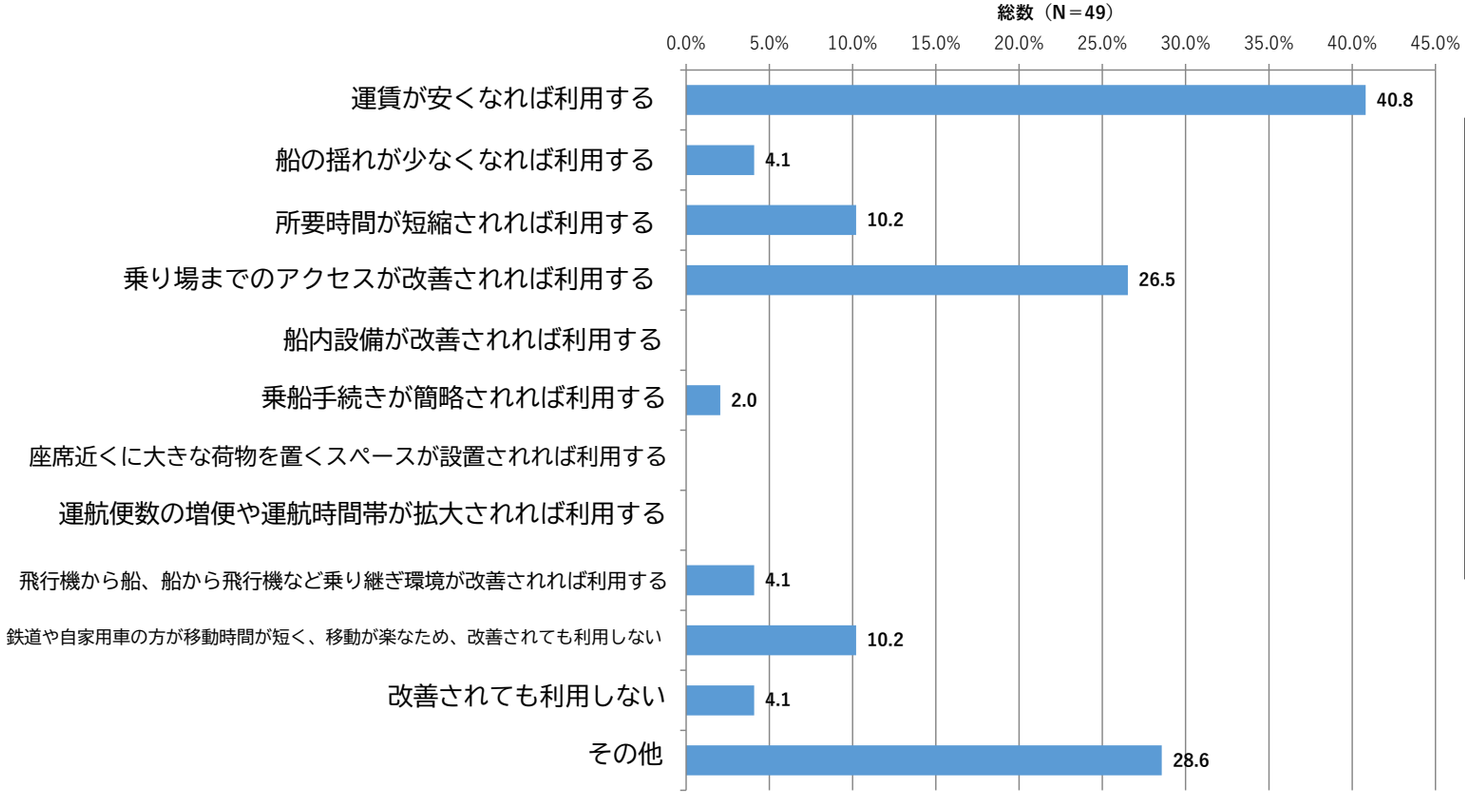
【津エアポートラインの認知度】

「知っている・利用した」が82.6%と最も多く、次いで「知らない」が17.4%となった。



【津エアポートラインを利用するにあたっての改善点】

「運賃が安くなれば利用する」が40.8%と最も多く、次いで「乗り場までのアクセスが改善されれば利用する」が26.5%となった。



「その他」の回答内容（一部抜粋）

・四日市なのでぜったい利用しない
・桑名に住んでいるため
・シーズンによっては予約いっぱい。
・津駅から船のりばまで大きな荷物を持ってバスに乗るのは大変なので大型荷物が乗せてある路線バスがあれば良い
・本数をもっと増やして欲しい
・無料の駐車場
・往復バスがあれば乗ってみたい
・津の乗場で駐車場が無料なら考える。高速道路を利用するよりも安かったら。